

# はしがき

本書は、市川市消防局の現況及び概要を紹介することを目的として編集したものです。

令和 3 年 5 月



# 市川市消防局の一日統計

令和3年4月1日現在

概況	面積	人口	世帯数	署所
				
	56.39 K m <sup>2</sup>	492,283人	251,028世帯	消防局 1 消防署 4 出張所 7

組織	消防職員	救急救命士	車両	消防団員・分団
				
定数	520人	男性救命士 73(51)人	ポンプ車 14台	分団数 23
実数	508人	女性救命士 10(7)人	救急車 13台	定数 400人
男性職員	475人	合計 83(58)人	はしご車 3台	男性団員 322人
女性職員	33人	※( ) 実働人数を示す	救助工作車 4台	女性団員 17人
			その他 69台	

予算 災害件数	消防予算	火災件数(令和2年)	救急件数(令和2年)	救助件数(令和2年)
				
5,696,000千円		71件	21,960件	372件
前年比144,000千円減		前年比 21件減	前年比 1,890件減	前年比 39件減

統計	火災原因(令和2年)		防火思想普及活動		危険物施設(令和2年)		防火対象物 (消防用設備を必要とする建物)
							
こんろ	11件	巡回広報	1,657回	製造所	8	防火対象物数	12,420
電気配線・器具	10件	庁舎見学	15回	貯蔵所	925		
放火(疑い含む)	9件	腹話術等	4回	取扱所	204		

統計	消防団出動状況 (令和2年)		救命講習 (令和2年)		消防水利		消防音楽隊 (令和2年)	
								
火災・警戒等	519回	実施回数	71回	消火栓	5,009	出演回数	11回	
訓練	476回	参加人数	1,713人	防火水槽	1,825	視聴者数	2,360人	
合計	995回			その他	93			



## 市川市市民憲章

わたくしたちは

江戸川の流れと松の緑に象徴される郷土市川とその自然を愛し由緒ある史跡と伝承をまもり育て文教都市にふさわしく教育と文化を重んじ人間性豊かな調和のとれた明るいまちをつくるためにつぎのことを定めます

1 きれいで 安全な より住みよい

まちをつくります

1 親切で あたたかい 希望にみちた

まちをつくります

1 教育と文化をそだて かおり高い

まちをつくります

1 健康で 楽しく働く たくましい

まちをつくります

1 みんなの幸せを願い 豊かな福祉の

まちをつくります

(昭和 52 年 11 月 3 日制定)



市の木 クロマツ  
(昭和 45.12.3 指定)



市民の花 バラ  
(昭和 50.7.21 決定)



市民の鳥 ウグイス  
(昭和 51.10.21 決定)



市民の昆虫 スズムシ  
(昭和 51.10.21 決定)

# 市川市消防歌

8

3 3 3 3

い  
と  
わ

くとせさやーかくろまつかおーりえどがわながれにれきしをうつーす  
きよはうつーりひとかわれどーもしょくだんりようりんかわらぬすがーた  
がまちひろーくへいあんねがーいぼうさいひとすじしみんのかなーめ

きようどをまもるわれらがちしおこのあかつきにわきいする  
ひとたびくるうほののなかにわがみていするこころいきああいちかわい  
きようこなそなえうれいをなくしゆめやすかれとおもいやるto ♪

1 2

きようのへいわをちかうこえ  
ちかわしょうぼうあすのしあわせつぐるお  
とわのさかえをきずくあ

と D.S.

い

三

永とあ夢ゆ強き防ぼう我わ  
遠わ々安め固うがが  
の市いかなな一ひひ  
栄さかえ川かわとえ  
とあめい備そな筋じく

二

明ああわがひとたび時世  
日す々身みだんはうつり  
の市いち挺てば団はうつり  
幸しあわ川かすわるう輪輪  
をせ

一

市川市消防歌  
作詞  
齊藤勝利

築き市いち思お憂うれ市し平へい  
川かわいもい民み安あんね  
く消しようやなくの願かな  
愛あい防ぼう要かなめい  
と告つ市いち心こころ炎ほの変か  
ぐる川かわ意いのわらぬ  
音おと防ぼう気きに姿すがた  
誓ち市いちわかれ歴史黒くろ  
か川かき等らをうつす  
う消しよう出いが  
声こ防ぼう潮ちしおお  
と

# 目 次

## 【市川市消防の沿革】

1 市川市消防の沿革 -----	1
------------------	---

## 【概 况】

1 市川市の位置及び地勢 -----	11
2 市域の変遷 -----	12
3 市勢及び消防の推移 -----	13
4 気象概要 -----	15
5 消防機構	
(1) 消防組織 -----	16
(2) 消防局事務内容 -----	17
(3) 消防分布図 -----	19
(4) 消防庁舎 -----	20
6 主要事業・行事（2020） -----	24

## 【総 務】

1 消防職員	
(1) 階級別消防職員 -----	27
(2) 消防職員配置状況 -----	27
(3) 消防職員階級別年齢調 -----	28
(4) 消防職員階級別勤続年数 -----	28
2 予算	
(1) 年度別市一般会計予算と消防費予算 -----	29
(2) 年度別消防費当初予算に対する負担比較 -----	29
(3) 年度別消防費（当初）節別内訳 -----	30
3 職員研修	
(1) 委託研修 -----	31
(2) 職場研修 -----	31
4 消防力の整備指針と現有消防力の比較 -----	32

## 【予 防】

1 火災予防	
(1) 年別防火思想の普及活動件数 -----	33
(2) 音楽隊の広報活動	
ア 音楽隊のあゆみ -----	34
イ 活動状況 -----	34
ウ 年別出演状況 -----	34

(3) 消防法に定める建築同意	
ア 月別建築同意件数	35
イ 年別建築同意件数（過去5年）	35
ウ 年別・業態別建築同意件数（過去5年）	36
(4) 消防法に定める防火対象物数及び防火管理届出状況	37
(5) 業態別・地階・中高層防火対象物数	38
(6) 年度別・業態別立入検査等件数（過去5年）	39
(7) 危険物規制対象	
ア 年別危険物製造所等の数（過去5年）	40
イ 危険物施設の許可完成検査等の数	40
ウ 管轄町名別危険物製造所等の数	41
(8) 石油コンビナート	
ア 本市の特別防災区域内における特定事業所の概要	43
イ 特定事業所における石油等の貯蔵・取扱量	44

## 2 火災統計

(1) 火災の実態と傾向	45
(2) 年別火災発生状況	45
(3) 年別・防火対象物用途別火災件数	46
(4) 年別・原因別火災件数	47
(5) 署別火災概要	48
(6) 月別火災件数・焼損床面積・損害額	49
(7) 年別・町別火災件数	50
(8) 発火源・経過区分別火災件数	52
(9) 時間別火災件数・焼損床面積・損害額	54
(10) 曜日別火災件数	55
(11) 原因別火災件数	55

## 【警 防】

1 警防計画	57
2 火災出動計画（事前命令）	58
(1) 火災出動計画（事前命令）表	59
(2) 警備担当区域図	60
(3) 警備担当区域表	61
3 消防車両	
(1) 過去5年間車両推移	62
(2) 消防局の装備	63
(3) 消防団の装備	63
(4) 消防局車両一覧	64

4	出動状況	67
5	消防水利	
(1)	水利別数	69
(2)	年別水利増強数（市費）	69
(3)	宅地開発事業に係る手続及び基準等に関する条例に伴う消防水利設置状況	69
(4)	町別、水利区分数	70
6	開発行為等に関する協議状況	
(1)	市川市宅地開発事業に係る手續及び基準等に関する条例に基づくもの	72
(2)	消防水利設置指導件数	72
7	泡消火薬剤備蓄状況	73
8	水防用資材保有状況	73
9	N B C 災害対応資機材保有状況	74
10	救助	
(1)	救助活動状況	75
(2)	月別救助出動状況	77
(3)	事故種別発生場所別活動件数	78
(4)	事故種別発生場所別救助人員	78
(5)	緊急援助活動	79
ア	国際消防救助隊	79
イ	緊急消防援助隊	79
ウ	千葉県広域消防相互応援協定	79
11	応援協定	80
12	臨時消防署	
(1)	臨時消防署配置場所	81
(2)	臨時消防署資機材一覧表	82
(3)	臨時消防署配置図	83

## 【救 急】

1	救急統計	
(1)	救急出動及び各種事業	85
(2)	年別救急出動件数及び搬送人員	86
(3)	事故別傷病程度及び性別	87
(4)	覚知から現場到着所要時間別出動件数	88
(5)	覚知から医療機関収容所要時間別搬送人員	89
(6)	曜日別救急出動件数及び搬送人員	90
(7)	月別救急出動件数及び搬送人員	91
(8)	年齢区分別搬送人員	92
(9)	隊別救急出動件数及び搬送人員	93
(10)	年別救急出動件数及び搬送人員の推移	95
(11)	診療科目別搬送人員	97
(12)	発生場所別救急搬送人員	97
(13)	救命講習会開催状況	98

## 【通 信】

1 通信施設	
(1) 消防救急指令管制システム	99
(2) 消防救急指令管制システム構成図	100
(3) 防災無線装置等	101
(4) 端末回線数等	101
(5) 無線電話装置（消防救急デジタル無線）	101
2 119番受信数	102

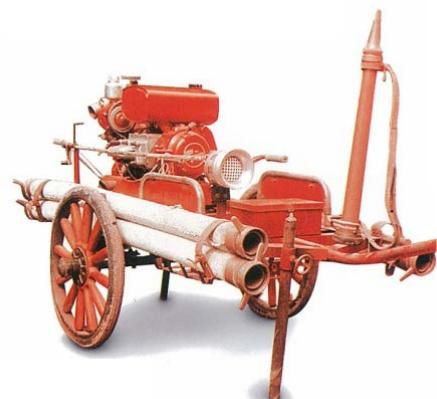
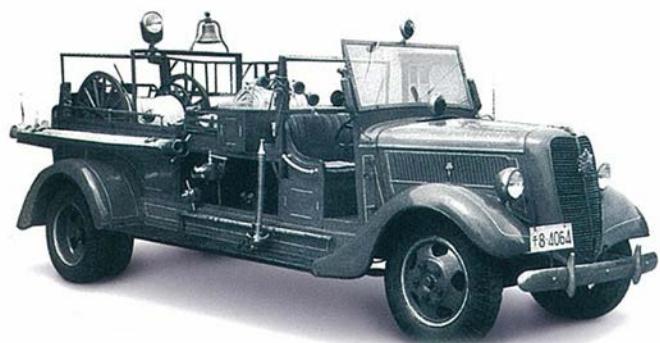
## 【消防団】

1 消防団員	
(1) 消防団の編成	103
(2) 消防団方面区分図	104
(3) 消防団員数	105
(4) 年齢別・階級別消防団員数	105
(5) 在職年数別消防団員数	106
(6) 団員職業構成	106
(7) 団員就業形態	106
(8) 消防団員の報酬及び費用弁償	107
2 消防団の出動状況	107
3 分団車庫（詰所）	108
4 分団別管轄区域	109
5 消防団車両一覧	110

## 【婦人消防クラブ】

婦人消防クラブの状況	111
------------	-----

# 市川市消防の沿革



# 市川市消防の沿革

- 明治27. 2. 9 勅令第15号消防組設置規則公布施行と同時に市川町消防組を設置。
- 昭和 9. 11. 3 市川町、八幡町、中山町、国分村が合併して市制施行に伴い市川市消防組と改称した。
- 昭和11. 7. 7 県下に先駆けて消防組内に常備消防部を置く。
- 昭和14. 4. 1 警防団令公布施行と同時に消防組と自主的に設置されていた防護団とを統合して警防団を組織した。
- 昭和22. 5. 10 消防団令公布施行により警防団を消防団と改称した。
- 昭和23. 12. 24 消防組織法が昭和23年3月7日に公布施行されたことに伴い警察行政より分離して消防本部を設置し自治体消防として発足した。
- 昭和24. 4. 1 消防本部の下に消防署を設置、消防職員定数21人とした。
- 昭和24. 8. 9 消防職員定数53人とした。
- 昭和24. 11. 3 大柏村合併。
- 昭和25. 2. 15 市川分遣所を設置した。
- 昭和25. 9. 7 消防職員定数83人とした。
- 昭和25. 12. 25 中山分遣所、根本分遣所を設置し、1署3分遣所とした。
- 昭和26. 11. 1 広小路分遣所を設置し、1署4分遣所とした。
- 昭和27. 5. 13 市川市消防音楽隊を結成した。
- 昭和28. 11. 22 消防署に救急車を配置し、救急業務を開始した。
- 昭和29. 10. 1 消防署の現位置を勘案し、各分団の合理的配置と少数精銳化を図るため従前の分団数23コ分団6部編成、団員定数794人を18コ分団450人に改め、また腕用ポンプを廃止し小型動力ポンプに替えた。
- 昭和30. 3. 7 国家消防本部より市川市消防本部、消防団に対し総合的消防力優秀との理由により表彰旗を授与される。
- 昭和30. 3. 21 消防職員定数95人とした。
- 昭和30. 3. 31 行徳町合併、これに伴い1団17コ分団、団員定数418人が加わり2団35コ分団868人とした。
- 昭和30. 9. 5 行徳分遣所を設置し、1署5分遣所とした。
- 昭和30. 10. 1 行徳地区消防団を3コ分団170人に減じた上、統合して1団21コ分団620人とした。
- 昭和31. 10. 1 南行徳町を合併、これに伴い同地区消防分団数7コ分団、団員定数292人を2コ分団80人とした上、市川市消防団に統合、その結果分団数23コ分団、団員定数700人、消防職員定数を107人とした。
- 昭和32. 3. 28 国府台分遣所を設置し、1署6分遣所とした。

- 昭和33. 3. 24 中山分遣所を中山町3丁目2番地より北方町3丁目102番地に移転した。
- 昭和35. 4. 1 常備消防の配置を勘案し、消防団員定数700人を500人とするとともに装備の近代化を図り、合理的編成替を行った。
- 消防職員定数117人とした。
- 昭和35. 11. 2 南行徳分遣所を設置し、1署7分遣所とした。
- 昭和37. 4. 1 消防職員定数125人とした。
- 昭和37. 6. 26 消防本部機構「総務、予防、警防」の3係制を「総務、予防、警防」の3課制に改め消防本部機構の充実を図った。
- 昭和37. 9. 3 初代市川市消防団長、福地新作氏より市川町5丁目地先の土地（財団法人市川警防会館及び市川分遣所）784m<sup>2</sup>が、消防署建設用地として市川市に寄贈された。
- 消防職員定数135人とした。
- 昭和38. 4. 15 消防法の一部改正により、救急業務が法制化された。
- 昭和38. 5. 30 市川分遣所に広小路分遣所を吸収統合した。
- 昭和38. 12. 29 根本分遣所に救急車を配置し救急隊を2隊とした。
- 昭和39. 4. 1 消防職員定数152人とした。
- 昭和39. 9. 5 市川分遣所跡地に地下1階地上5階の消防庁舎を建設。消防本部、消防署を移転、旧庁舎を八幡分遣所と改称し、1署6分遣所とした。
- 八幡分遣所に救急車を配置し、根本分遣所の救急車配置を廃止した。
- 昭和40. 3. 10 新田分遣所を設置し、1署7分遣所とした。
- 昭和40. 10. 9 八幡分遣所裏敷地に独身職員を対象にした市川市職員待機寮を設置した。
- 昭和40. 11. 23 屈折はしご付消防車を消防署に配置した。
- 昭和40. 12. 20 行徳分遣所に救急車を配置し、救急隊を3隊とした。
- 昭和42. 4. 1 消防職員定数164人とした。
- 昭和42. 6. 12 高谷分遣所を設置し1署8分遣所とした。
- 昭和42. 9. 1 消防庁長官より市川市消防本部、消防団が防災功労表彰を受賞した。
- 昭和43. 4. 1 消防職員定数168人とした。
- 高谷分遣所に救急車を配置し、救急隊を4隊とした。
- 昭和44. 4. 1 消防職員定数184人とした。
- 昭和44. 7. 1 中山分遣所に救急車を配置し、救急隊を5隊とした。
- 昭和44. 10. 1 消防職員の階級に副士長制を採用した。
- 昭和45. 4. 1 八幡分遣所を改築。名称を「東消防署」とし消防署に昇格。中山、行徳、南行徳、高谷の各分遣所をその所属とした。従来の「市川市消防署」を「市川市西消防署」と改称。国府台、根本、新田の各分遣所をその所属とし、2署7分遣所体制に改めた。
- 消防職員定数を214人とし、消防長の階級を消防正監とした。
- 昭和45. 10. 1 東消防署屋上に望楼監視用テレビを設置。東消防署の望楼監視を廃止、テレビ監視に切換えた。

- 昭和45. 11. 20 市川市職員寮の完成に伴い市川市職員待機寮は消防職員専用の寮とし名称を市川市消防職員待機寮とした。
- 昭和47. 4. 1 消防職員定数 234人とした。
- 昭和47. 8. 1 湿新田802番地に世帯用の市川市職員住宅を設置した。
- 昭和47. 11. 28 曽谷分遣所を新築し、屋上に望楼監視用テレビを設置、西消防署に所属し2署8分遣所とした。救急車を配置し救急隊を6隊とした。
- 昭和47. 12. 16 南八幡3丁目に消防職員幹部宿舎を設置した。
- 昭和47. 12. 24 救急指令台1基設置、救急活動の円滑と装備の強化を図った。
- 昭和48. 4. 1 消防職員定数 250人とした。
- 昭和48. 7. 31 西消防署に特別救助隊を編成配置した。（隊員11人）
- 昭和49. 3. 8 40mはしご車を東消防署に配置した。これに伴い救助隊員を西消防署から東消防署に配置替えした。
- 国府台分遣所を改築し、救急車を新たに配置した。同時に根本分遣所を廃止し、2署7分遣所とした。
- 昭和49. 3. 31 救助工作車を東消防署に配置した。
- 昭和49. 4. 1 消防職員定数 262人とした。
- 昭和49. 7. 1 機構改革、消防本部警防課より通信係を分離独立「通信指令室」とし、消防本部組織を3課1室とした。
- 昭和49. 10. 19 消防本部の名称を消防局に改称した。
- 昭和49. 12. 3 サンケイ新聞社より市川市消防局、消防団に対し総合的消防力優秀により表彰旗を授与される。
- 昭和50. 3. 15 救助工作車を西消防署に配置した。
- 昭和50. 4. 1 西消防署に特別救助隊を編成配置した。（隊員14人）
- 昭和50. 12. 26 防災指導車を警防課に配置した。
- 昭和51. 9. 1 稲荷木消防訓練場を開設した。
- 昭和51. 11. 3 防災対策普及啓蒙のため地震体験車を配置した。
- 昭和52. 4. 1 消防職員定数 302人とした。
- 昭和53. 4. 1 消防職員定数 315人とした。
- 南消防署を設置し、40mはしご車、救助工作車、三点セット、救急車を配置した。同時に特別救助隊（隊員15人）並びに救急隊の配置とともにない南行徳分遣所を廃止し、3署6分遣所とした。
- 昭和53. 8. 29 道路狭隘地域及び高層建物対策として先行消防車を5ヶ年計画で6署所に配置することとし、初年度として東消防署及び中山分遣所にそれぞれ配置した。
- 昭和53. 10. 1 西消防署所属の曾谷分遣所を北消防署に昇格し4署5分遣所とした。
- 昭和54. 4. 1 消防職員定数 325人とした。
- 昭和54. 11. 17 各消防署に「消防相談所」を開設した。



- 昭和55. 4. 1 女性消防官 10人を採用。  
消防職員定数 345人とした。
- 昭和55. 9. 25 震災対策用として東西南北各消防署に「震災用小型ポンプ搬送車」を配置した。
- 昭和56. 1. 29 東消防署中山分遣所を改築した。
- 昭和56. 4. 1 消防職員定数 353人とした。
- 昭和56. 4. 6 北消防署に救助工作車を配置するとともに特別救助隊（隊員 12人）を編成配置し、救助隊員総数 57人とした。
- 昭和56. 10. 1 防火基準適合表示制度が発足した。
- 昭和57. 5. 11 9月1日の「防災の日」を含む1週間を防災に対する認識の向上と災害の未然防止をはかるため防災週間が制定された。
- 昭和57. 7. 1 救急の日が制定され毎年9月9日を「救急の日」としてこの日を含む1週間を救急医療週間として制定された。
- 昭和57. 11. 25 大地震に対する消防対応措置として臨時消防署 15カ所を設置した。
- 昭和59. 11. 3 市川市消防歌を制定した。
- 昭和60. 4. 1 消防職員定数 368人とした。
- 昭和60. 7. 1 消防局・東消防署合同庁舎（地下1階、地上5階）の完成に伴い消防局、東消防署を移転。通信指令室を指令課に改め4課制とした。  
東消防署に2隊の救急隊を配置した。
- 昭和60. 8. 1 消防局各課に課長補佐を置いた。
- 昭和61. 3. 14 照明電源車を東消防署に配置した。
- 昭和61. 4. 1 消防職員定数 383人とした。
- 昭和61. 4. 15 消防法の一部改正により、救助業務が法制化された。
- 昭和62. 4. 1 消防職員定数 398人とした。
- 昭和62. 7. 1 消防局に装備課を新設し5課制とした。
- 昭和62. 11. 1 消防活動のPRと火災予防のため、  
広報紙「こちら119番」を創刊し、  
市民に配布した。
- 昭和63. 1. 7 消防出初式開催場所を稻荷木消防訓練場に変更した。  
(以降同場所で実施)
- 昭和63. 2. 15 排煙高発泡車を東消防署に配置した。
- 昭和63. 4. 1 消防職員定数 410人とした。
- 昭和63. 11. 28 指令課総合指令台に、独居老人用「あんしん電話」（緊急通報用電話）の特別回線を接続し、第1通報先とした。
- 昭和63. 12. 23 国際消防救助隊編成協力市町村として登録された。（隊員 11人）
- 平成元. 2. 4 市川市婦人消防クラブを結成した。
- 平成元. 3. 29 救助車（20t級クレーン付）を東消防署に配置した。
- 平成元. 4. 1 消防職員定数 415人とした。



平成 2. 2.28	19t級消防艇「ちどり」を沿岸及び海上等の災害に対応するため東消防署高谷分遣所（市川港）に配置した。 (浮桟橋18.00m固定可動桟橋22.5m設置)	
平成 2. 4. 1	消防職員定数431人とした。	
平成 2. 7. 1	消防局に「管理官」制、消防署に課制を導入し、組織の充実を図るとともに指令課に3交替制を採用した。	
平成 3. 3. 30	水難救助車（水陸両用車）を海、河川の救助活動及び大地震災害に対応するため消防局警防課に配置した。	
平成 3. 4. 1	消防職員定数451人とした。	
平成 3. 9. 1	新築の西消防署に女性センターが併設され「市川市西消防署・消防局研修センター・女性センター」合同庁舎として業務を開始した。	
平成 3. 10. 16	婦人消防クラブが千葉県代表として、第7回全国婦人消防操法大会に出場した。	
平成 4. 2. 13	日本消防協会より市川市消防団、市川市婦人消防クラブに対し、各表彰旗を授与された。	
平成 4. 4. 1	消防職員定数477人とした。 消防局に「救急課」を新設及び消防署に2課制を導入し、消防行政の効率化を図った。	
平成 4. 11. 19	救急救命士が誕生した。	
平成 5. 4. 1	消防職員定数502人とした。	
平成 5. 5. 7	「救急救命士法」に基づく指示医師が決定し、救急救命士の運用を開始した。	
平成 5. 10. 6	婦人消防クラブが千葉県代表として、第9回全国婦人消防操法大会に出場した。	
平成 5. 10. 8	移動電話（携帯電話、自動車電話）からの災害通報受信専用加入電話を設置した。	
平成 5. 10. 15	市川市自治体消防発足45周年記念式典を挙行した。	
平成 6. 2. 1	地震対策の見直しにともない、臨時消防署を4ヶ所増設し19ヶ所とした。	
平成 6. 2. 15	日本消防協会より市川市消防団に対して竿頭綬、市川市婦人消防クラブに対して表彰旗がそれぞれ授与された。	
平成 6. 4. 1	消防局の機構改革により部制を敷くとともに企画課を新設、2部7課制とした。	

- 平成 6. 10. 1 南消防署行徳分遣所に水難救助隊（消防隊兼務）を新設、13名を配置した。
- 平成 7. 1. 17 阪神・淡路大震災（平成7.1.17発生「兵庫県南部地震」）による被災者救助のため、国際消防救助隊員等13名を派遣した。
- 平成 7. 4. 1 消防職員定数512人とした。
- 女性消防官を指令課に、女性救急隊員を東・西・南各消防署に配置した。
- 平成 7. 10. 1 女性指令課員及び女性救急隊員の当直勤務を開始した。
- 平成 7. 10. 30 阪神・淡路大震災を教訓に「緊急消防援助隊」が創設され、本市も創設と同時に加盟した。
- 平成 7. 12. 18 大震災時の人命救助・初期消火・救急応急処置・情報収集用として赤バイ、  
消防機動二輪車の計21台を各署所へ  
2台ずつ配置した。
- 平成 8. 2. 23 震災対策用として主に消防活動時、容易に障害物や重量物を排除することが可能な特別救助車（ホイール・ショベルカー）を東消防署及び南消防署にそれぞれ配置した。
- 平成 8. 2. 26 基地局に、全国共通波を2波増波し、市町村波2波、県内共通波1波、全国共通波3波、救急波1波の計7波とした。
- 平成 8. 3. 2 震災対策として、公共下水道の供用開始に伴い不用となった浄化槽を災害時の防火水槽として使用するため民間のマンション等の所有者と協定を締結した。
- 平成 8. 4. 1 消防職員定数520人とした。
- 平成 8. 10. 1 市川市消防職員委員会を設置した。
- 平成 9. 2. 24 緊急消防援助隊用として、救助工作車III型を東消防署へ設置した。
- 平成 9. 3. 1 北消防署大野分遣所を設置、水そう付消防車、40mはしご車、緊急消防援助隊用として、災害対応特殊救急自動車を配置し、4署6分遣所とした。
- 平成10. 11. 9 市川市自治体消防発足50周年記念式典を挙行した。
- 平成11. 4. 1 機構改革を実施し、企画課を総務課へ統合するとともに各分遣所の名称を出張所と改称、2部6課4署6出張所とした。  
消防救急指令管制システムを更新した。
- 平成11. 8. 17 トルコ共和国北西部で発生した地震による被災者救助のため、国際消防救助隊員（国際緊急救援隊）2名を派遣した。
- 平成11. 10. 1 大野出張所を特別救助隊と救急隊で再編成した。  
消防隊による中高層住宅等の救急現場支援活動を開始した。
- 平成11. 10. 6 インターネット上に市川市消防局のホームページを開設した。



- 平成12. 4. 1 消防防災体制の一元化を図るため、市長部局にあった防災課を消防局に移管し、2部7課4署6出張所とした。  
消防団員の定数を400人とした。
- 平成12. 9. 1 4署6出張所の計10ヵ所で住民票の取次業務を開始した。
- 平成13. 4. 1 機構改革により完全スタッフ制を実施した。
- 平成13. 12. 25 ドクターヘリ運営協議会と協定を締結した。
- 平成14. 3. 1 I S O 1 4 0 0 1認証を取得した。
- 平成15. 2. 9 市川市消防音楽隊発足50周年記念演奏会を挙行した。
- 平成15. 10. 1 指令課を3交替制から2交替制とした。
- 平成16. 1. 10 市制70周年記念市川市消防出初式を挙行した。
- 平成16. 4. 1 消防局の防災課を市長部局に移管し、2部6課4署6出張所とした。
- 平成16. 6. 24 救急救命士による「気管挿管」県内第1号の認定を受けた。
- 平成16. 10. 1 西消防署新田出張所を移設し、大洲防災公園に隣接した西消防署大洲出張所として開所、普通消防ポンプ自動車、高規格救急車を配置した。
- 平成16. 10. 27 新潟県中越地震（平成16.10.23発生）災害に、緊急消防援助隊千葉県隊として4隊16名を派遣した。
- 平成17. 4. 1 機動化学中隊を創設、N B Cテロ災害等対応隊として西消防署に配置した。  
女性消防団員7名を採用した。
- 平成17. 11. 9 携帯電話からの119番通報直接受信を開始した。
- 平成18. 4. 1 機動化学中隊の活動体制を強化するため、N B C災害対応資機材（陽圧式化学防護服、携帯型生物化学兵器検知器、除染シャワーシステム等）を装備した、塔体付消防ポンプ自動車を西消防署に配置した。
- 平成18. 8. 24 救急救命士による「薬剤投与」の認定を受けた。
- 平成18. 12. 1 全消防署・出張所にA E D（自動体外式除細動器）を配置した。



平成19. 1. 24	標準型高規格救急車を高谷出張所に配置。 これにより全ての消防署・出張所に高規格 救急車が配置された。 地震体験車を更新した。	
平成19. 4. 1	高齢者世帯（75歳以上）を対象に、 女性消防団員と住宅防火訪問を開始した。	
平成20. 1. 12	市川市消防局60周年記念市川市消防 出初式を挙行した。	
平成20. 3. 18	排煙高発泡車を更新し、東消防署に 大型プロア一車を配置した。	
平成20. 5. 15	中華人民共和国四川省で発生（平成20.5.12） した地震による被災者救助のため、 国際消防救助隊員（国際緊急援助隊）2名 を派遣した。	
平成21. 1. 9	市制75周年記念市川市消防出初式を 挙行した。	
平成21. 2. 27	大型化学消防車及び大型高所放水車の機能を 併せ持つ大型化学高所放水車を南消防署に 配置した。	
平成21. 4. 1	機構改革により部制を廃止、2次長制とし、1局6課4署6出張所とした。 総務課を消防総務課へ、施設装備課を企画管理課へ名称変更し、警防課に 市民防災担当室を設置した。 予防課に再任用職員を配置した。	
平成22. 4. 1	南消防署広尾出張所を設置し、普通消防ポンプ自動車1台、高規格救急 車1台を配備、4署7出張所とした。	
平成23. 3. 14	東日本大震災（平成23.3.11発生「東北地方 太平洋沖地震」）による被災者救助等のため、 緊急消防援助隊千葉県隊として、岩手県陸前 高田市及び福島県福島市に17隊52名を 派遣した。	
平成23. 4. 1	指令課に共同指令センター設置準備担当室を配置した。 救急課に再任用職員を配置した。	
平成23. 12. 1	北消防署を大野消防訓練場用地に新築移転し、普通ポンプ自動車1台 を増強した。 旧北消防署は、出張所として運用し、北消防署曾谷出張所に改称、大 野出張所は廃止した。	
平成24. 1. 7	大洲防災公園にて、消防出初式を開催した。	

- 平成25. 2. 16 市川市消防音楽隊発足 60周年  
記念演奏会を挙行した。
- 平成25. 4. 1 市川市、松戸市、野田市、流山市、鎌ヶ谷市、  
浦安市の6市による指令業務の共同運用開始  
に伴い、共同指令センター設置準備担当室を  
廃止した。
- 平成26. 1. 11 市制80周年記念市川市消防出初式を挙行  
した。
- 平成26. 4. 1 機構改革により警防課の市民防災担当室を  
廃止し、企画管理課、指令課、各消防署に  
再任用職員を配置した。  
東消防署に救助工作車（III型）を配置する  
とともに、高度救助隊を編成配置した。  
(隊員18名)
- 平成27. 4. 1 14t級新「消防艇ちどり」を沿岸及び  
海上等の災害に対応するため東消防署  
高谷出張所に配置し、それに伴い旧「消防  
艇ちどり」を廃止した。
- 平成27. 9. 15 平成27年関東・東北豪雨（平成27年  
9月7日発生した台風18号）被災者救助  
等のため、緊急消防援助隊千葉県隊として、  
茨城県常総市に2隊8名を派遣した。
- 平成28. 4. 1 消防機関員に係る技術の伝承を強化し、  
消防業務の推進を図るため、優れた知識と  
技術を有し、他の模範である職員を市川市  
消防局指導機関員に任命、各所属に配置し  
た。（20名）
- 平成29. 4. 1 救急需要の増加に対応するため、救急隊を1隊増隊、11隊から12隊と  
して運用を開始した。
- 平成29. 5. 13 市川市消防音楽隊発足65周年記念演奏会を挙行した。
- 平成30. 10. 19 市川市消防団第17分団、第26回全国消防操法大会小型ポンプ操法の部  
に出場した。
- 平成30. 10. 22 東消防署高谷出張所を同敷地に新築した。
- 平成31. 4. 1 東京外かく環状道路千葉区間の開通に伴う救助体制強化のため、西消防署  
に特別救助隊を配置し4隊体制とした。
- 令和元. 9. 24 台風15号に伴う被災者支援等のため、千葉県館山市及び鋸南町に延べ  
96名を派遣した。



- 令和元. 10. 25 台風 21号に伴う被災者救助等のため、  
千葉県茂原市に 2 隊 7 名を派遣した。
- 令和 2. 3. 17 大野消防訓練場に訓練施設を新設した。
- 令和 2. 4. 1 救急需要の増加に対応するため、救急隊を  
1 隊増隊、12 隊から 13 隊として運用を  
開始した。
- 令和 3. 1. 4 市川市消防局公式ツイッターを開始した。
- 令和 3. 1. 16 新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴い、  
消防出初式を中止とした。
- 令和 3. 2. 1 市川市、松戸市、野田市、流山市、鎌ヶ谷市、  
浦安市に、新たに習志野市、柏市、八千代市、  
我孫子市を加え、10 市による指令業務の共  
同運用を開始した。
- 令和 3. 3. 16 災害時の情報収集等のため、災害用ドローン  
を配備した。



# 概況



アイ・リンクタウン展望施設からの風景

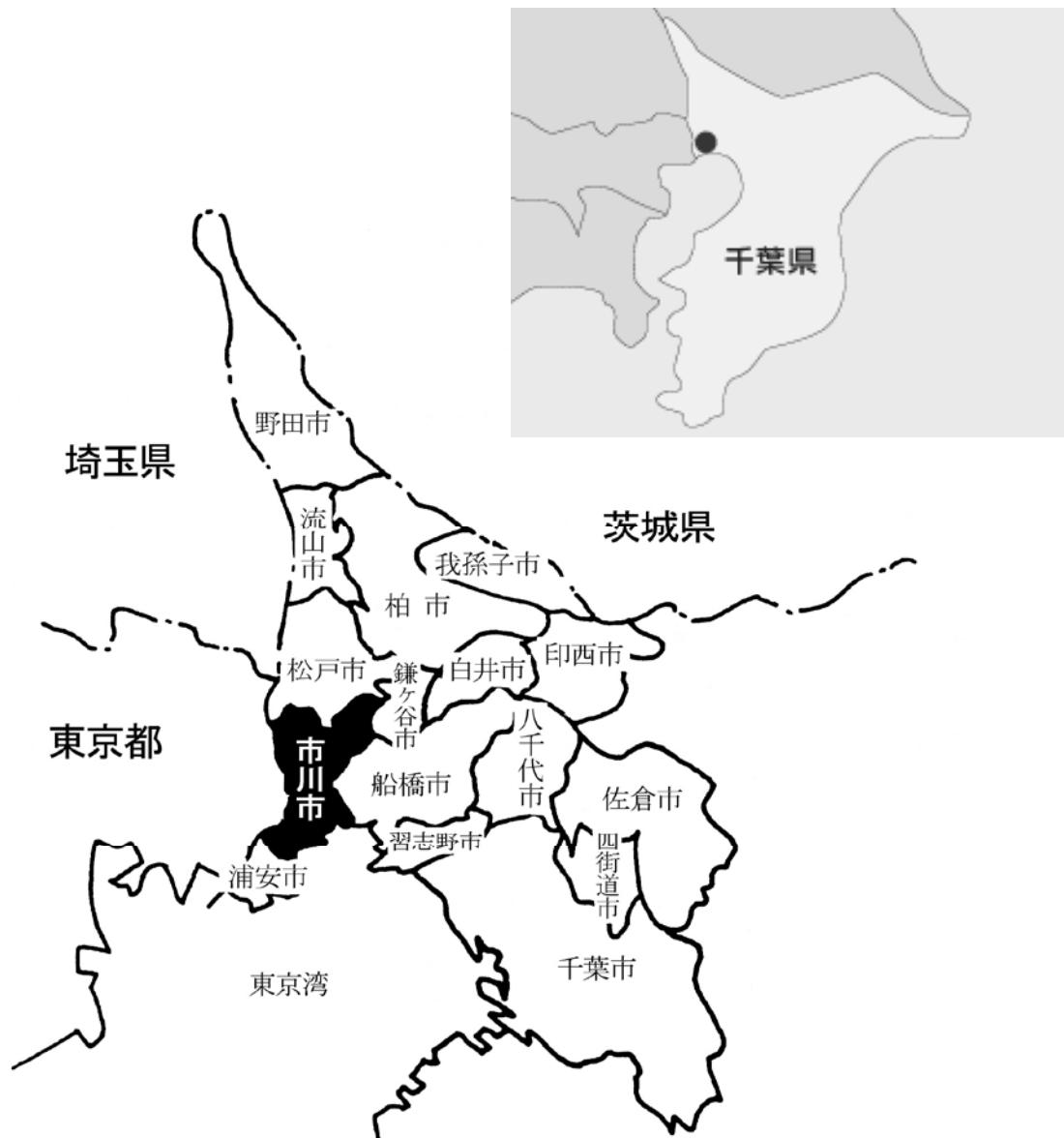
# 1 市川市の位置及び地勢

市川市は、千葉県の西端に当たる東経139度55分52秒、北緯35度43分19秒、海拔3.25m、(市庁舎)に位置し、東西約8.2km、南北約13.4kmで面積は56.39km<sup>2</sup>であり、東西に狭く南北に長い地形をしている。

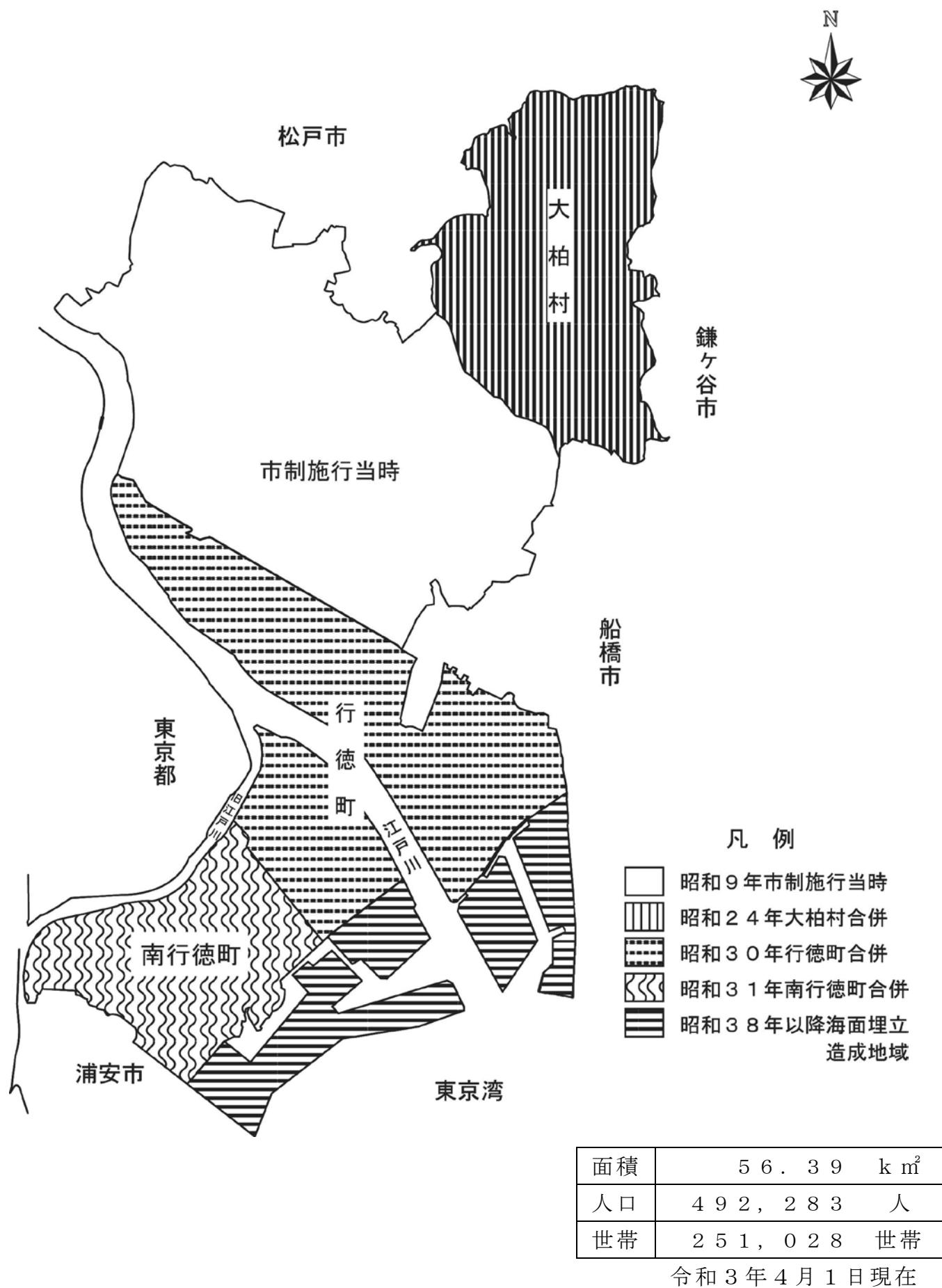
北は松戸市、南は浦安市及び東京湾に、東は船橋市及び鎌ヶ谷市に接し、西は江戸川を隔てて東京都江戸川区・葛飾区と相対している。

土地は、北部から南部にかけてやや傾斜しているが概ね平坦であり北部一帯は小高い台地を形成し、台地は粘土壌土、低地は砂質壌土である。

都心に近い関係から郊外住宅都市として発達し続ける一方、海岸線の埋立地には企業の進出がはかられ、京葉工業地帯の一翼を担っている。



## 2 市域の変遷



### 3 市勢及び消防の推移

各年1月1日現在

年別	面積 (k m <sup>2</sup> )	人口	世帯数	署所数	職員定数	分団数	団員定数
昭和45年	53.76	248,939	71,317	9	214	23	500
昭和46年	53.77	263,565	78,223	9	214	23	500
昭和47年	53.77	273,129	82,278	9	234	23	500
昭和48年	55.26	282,296	86,545	10	250	23	500
昭和49年	55.72	292,640	91,136	10	262	23	500
昭和50年	55.72	304,383	95,663	9	262	23	500
昭和51年	55.94	321,211	103,216	9	262	23	500
昭和52年	55.94	333,302	107,471	9	302	23	500
昭和53年	55.94	343,697	111,158	9	315	23	500
昭和54年	55.94	353,104	114,449	9	325	23	500
昭和55年	56.31	358,434	116,035	9	345	23	500
昭和56年	56.31	365,812	127,963	9	353	23	500
昭和57年	56.31	373,798	131,295	9	353	23	500
昭和58年	56.31	381,679	135,132	9	353	23	500
昭和59年	56.39	388,252	138,576	9	353	23	500
昭和60年	56.39	395,202	141,942	9	368	23	500
昭和61年	56.39	402,504	145,952	9	383	23	500
昭和62年	56.39	409,383	147,349	9	398	23	500
昭和63年	56.39	416,553	152,040	9	410	23	500
平成元年	56.39	424,145	157,994	9	415	23	500
平成2年	56.39	429,798	162,585	9	431	23	500
平成3年	56.39	438,020	170,527	9	451	23	500
平成4年	56.39	444,738	176,176	9	477	23	500
平成5年	56.39	446,865	179,479	9	502	23	500
平成6年	56.39	446,900	181,400	9	502	23	500
平成7年	56.39	444,203	181,373	9	512	23	500
平成8年	56.39	441,679	181,673	9	520	23	500
平成9年	56.39	440,934	183,251	9	520	23	500

年 別	面積 (k m <sup>2</sup> )	人 口	世帯数	署所数	職員定数	分団数	団員定数
平成 10 年	5 6 . 3 9	4 4 2 , 2 7 9	1 8 5 , 8 2 6	1 0	5 2 0	2 3	5 0 0
平成 11 年	5 6 . 3 9	4 4 4 , 8 0 2	1 8 9 , 1 3 0	1 0	5 2 0	2 3	5 0 0
平成 12 年	5 6 . 3 9	4 4 8 , 5 5 4	1 9 2 , 5 3 9	1 0	5 2 0	2 3	5 0 0
平成 13 年	5 6 . 3 9	4 4 9 , 5 2 3	1 9 4 , 0 5 3	1 0	5 2 0	2 3	4 0 0
平成 14 年	5 6 . 3 9	4 5 6 , 6 0 0	1 9 9 , 0 8 6	1 0	5 2 0	2 3	4 0 0
平成 15 年	5 6 . 3 9	4 6 2 , 1 4 3	2 0 3 , 4 7 1	1 0	5 2 0	2 3	4 0 0
平成 16 年	5 6 . 3 9	4 6 3 , 6 2 6	2 0 5 , 2 1 3	1 0	5 2 0	2 3	4 0 0
平成 17 年	5 6 . 3 9	4 6 4 , 9 9 3	2 0 7 , 0 2 9	1 0	5 2 0	2 3	4 0 0
平成 18 年	5 6 . 3 9	4 6 6 , 0 9 6	2 0 7 , 8 4 9	1 0	5 2 0	2 3	4 0 0
平成 19 年	5 6 . 3 9	4 6 8 , 3 5 6	2 1 0 , 4 7 4	1 0	5 2 0	2 3	4 0 0
平成 20 年	5 6 . 3 9	4 7 0 , 1 4 9	2 1 3 , 3 3 6	1 0	5 2 0	2 3	4 0 0
平成 21 年	5 6 . 3 9	4 7 3 , 0 5 5	2 1 6 , 3 3 8	1 0	5 2 0	2 3	4 0 0
平成 22 年	5 6 . 3 9	4 7 5 , 1 2 4	2 1 8 , 5 1 0	1 0	5 2 0	2 3	4 0 0
平成 23 年	5 6 . 3 9	4 7 2 , 9 5 4	2 1 9 , 7 0 0	1 1	5 2 0	2 3	4 0 0
平成 24 年	5 6 . 3 9	4 7 0 , 3 2 3	2 1 9 , 2 2 4	1 1	5 2 0	2 3	4 0 0
平成 25 年	5 6 . 3 9	4 6 8 , 6 1 5	2 2 2 , 6 1 8	1 1	5 2 0	2 3	4 0 0
平成 26 年	5 6 . 3 9	4 6 9 , 1 4 8	2 2 4 , 2 7 9	1 1	5 2 0	2 3	4 0 0
平成 27 年	5 6 . 3 9	4 7 2 , 7 5 7	2 2 7 , 8 5 0	1 1	5 2 0	2 3	4 0 0
平成 28 年	5 6 . 3 9	4 7 6 , 5 6 0	2 3 1 , 5 8 4	1 1	5 2 0	2 3	4 0 0
平成 29 年	5 6 . 3 9	4 8 0 , 7 4 4	2 3 5 , 6 6 0	1 1	5 2 0	2 3	4 0 0
平成 30 年	5 6 . 3 9	4 8 4 , 6 0 5	2 3 9 , 5 6 8	1 1	5 2 0	2 3	4 0 0
令和 元年	5 6 . 3 9	4 8 7 , 5 3 6	2 4 3 , 0 1 1	1 1	5 2 0	2 3	4 0 0
令和 2 年	5 6 . 3 9	4 9 0 , 1 9 2	2 4 6 , 6 3 8	1 1	5 2 0	2 3	4 0 0
令和 3 年	5 6 . 3 9	4 9 1 , 7 6 4	2 4 9 , 3 2 4	1 1	5 2 0	2 3	4 0 0

## 4 気象概要

	気温			湿度	風速			降水量		
	平均 ℃	最高 ℃	最低 ℃	平均 %	平均 m/s	最多風向	最大風速 m/s	最大風速 時の風向	総量 mm	最大日量 mm
平成28年	16.3	37.7	-2.3	71.4	2.6	北北西	27.0	南	1,383.5	94.0
平成29年	15.7	37.2	-3.7	69.9	2.8	北北西	28.4	南	995.0	96.0
平成30年	16.6	38.3	-3.2	73.0	2.9	北	37.0	南南西	926.5	40.5
令和元年	16.3	36.8	-1.2	72.3	2.8	北	44.3	南南東	1447.0	122.5
令和2年	17.2	37.2	-3.1	76.6	2.8	北北西	25.8	南南西	1196.0	130

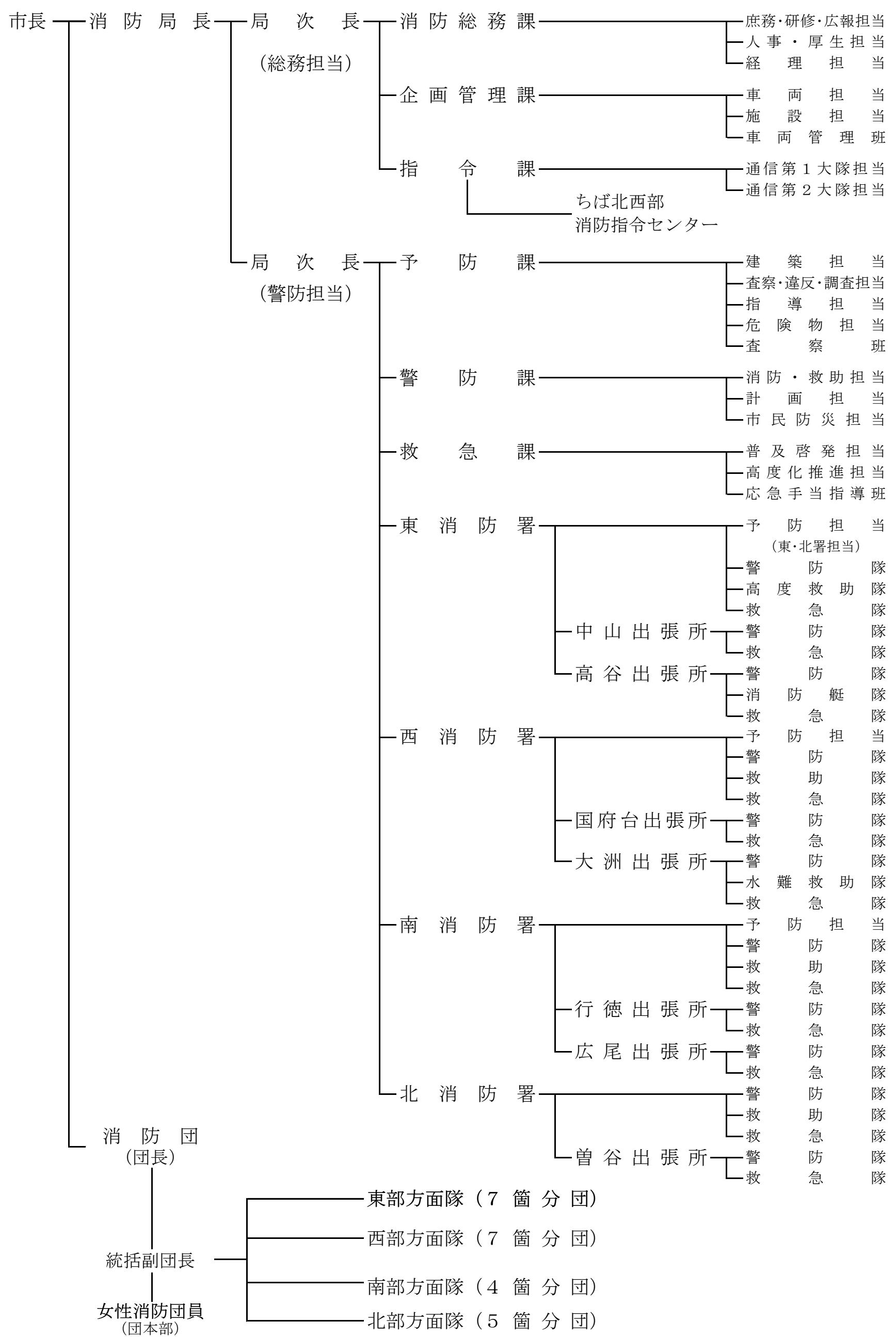
令和2年1月	6.9	18.1	0.6	70.8	2.3	北北西	23.0	北	101.0	32.5
2月	8.1	17.3	-3.1	60.7	2.4	北北西	24.6	南	16.0	9.5
3月	10.5	21.5	0.5	69.7	3.1	北	24.6	西北西	89.5	36.0
4月	12.8	24.4	5.2	68.9	3.3	北北西	23.5	北北東	181.0	62.5
5月	19.4	28.7	10.4	79.0	3.2	南	19.8	南南西	85.5	42.0
6月	23.0	32.6	17.2	85.1	2.9	南	23.8	南南西	178.5	37.0
7月	24.0	31.7	17.1	92.2	3.6	南南西	25.8	南南西	230.0	31.5
8月	29.0	37.2	21.9	79.1	2.8	南	14.9	南	36.5	31.0
9月	24.1	34.0	14.5	86.4	3.0	北	21.0	南南東	128.5	62.5
10月	17.3	27.6	9.3	79.3	2.2	北	14.4	北	138.5	51.5
11月	13.7	23.9	4.8	71.2	2.2	北北西	19.0	南南西	11.0	5.0
12月	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

注：令和2年12月は機器更新を実施したためデータ欠測。

## 5 消防機構

### (1) 消防組織

令和3年4月1日現在



## (2) 消防局事務内容

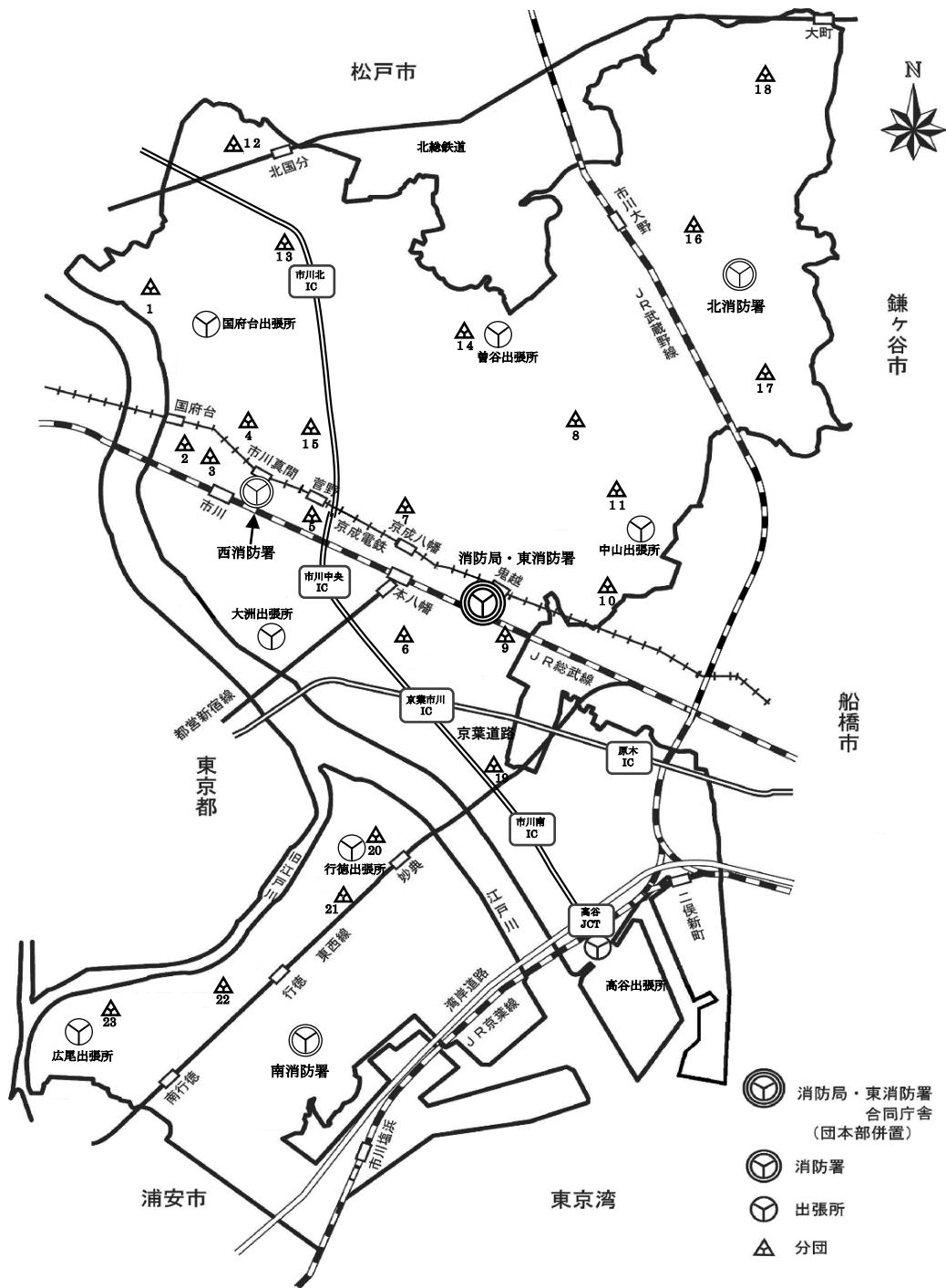
令和3年4月1日現在

	消防総務課	(1) 課の庶務に関すること (2) 消防の広域化（指令センターの共同化を除く）に関すること (3) 公印の管理に関すること (4) 文書の收受及び発送に関すること (5) 予算、決算及び会計に関すること (6) 消防職員の人事に関すること (7) 消防職員の給与及び諸手当の支給に関すること (8) 消防職員の福利厚生に関すること (9) 消防職員委員会に関すること (10) 消防職員の研修に関すること (11) 消防防災広報に関すること (12) 消防委員会に関すること (13) 消防職員の貸与品に関すること (14) 他の課の所掌に属しない事項に関すること
務担当	企画管理課	(1) 課の庶務に関すること (2) 重要施策等の企画立案及び管理に関すること (3) 消防の相互応援に関する協定に関すること (4) 消防施設、消防機械器具及び装備の整備計画に関すること (5) 公有財産の取得、管理及び処分に関すること (6) 消防施設及び消防車両の総括管理に関すること (7) 安全運転管理業務に関すること (8) 情報化の推進に関すること
	指令課	(1) 課の庶務に関すること (2) 消防通信の運用に関すること (3) 消防通信施設装備の整備計画及び技術研究に関すること (4) 消防通信施設装備の維持管理に関すること (5) 指令センターの共同化及び共同運用に関すること

	予 防 課	(1) 課の庶務に関すること (2) 防火思想の普及宣伝に関すること (3) 防火管理及び防災管理に関すること (4) 住宅防火の推進に関すること (5) 自衛消防隊に関すること (6) 消防音楽隊に関すること (7) 危険物の規制に関すること (8) 石油コンビナート等の災害の予防に関すること (9) 建築許可等に係る同意に関すること (10) 予防査察に関すること (11) 防火対象物の使用開始届及び消防用設備等着工届に関すること (12) 火災の調査等に関すること
警 防 担 当	警 防 課	(1) 課の庶務に関すること (2) 水火災等、地震等の警防計画に関すること (3) 水火災等、地震等の警戒鎮圧に関すること (4) 消防活動に関する届出に関すること (5) 宅地開発事業に対する行政指導に関すること (6) 警防隊、救助隊、消防艇隊、水難救助隊及び機動化学隊に 関すること (7) 国際消防救助隊及び緊急消防援助隊に関すること (8) 消防機械器具の技術指導に関すること (9) 国民保護計画のうち消防に関すること (10) 感染症対策のうち消防に関すること (11) 消防訓練に関すること (12) 消防団に関すること (13) 婦人消防クラブに関すること (14) 防災活動協力員に関すること
	救 急 課	(1) 課の庶務に関すること (2) 救急隊に関すること (3) 救急救命士に関すること (4) 救急関係機関との連絡調整に関すること (5) 応急手当の普及啓発活動に関すること (6) 救急統計に関すること (7) 救急搬送証明書の交付に関すること

### (3) 消防分布図

市川市の消防署所及び消防団（分団）の配置は、都市形態に応じて市内を4方面に区分し、東、西、南、北の4消防署と7出張所を、又消防団は市域に23箇分団をそれぞれ配置し、消防警備を担当している。



## (4) 消防庁舎

### 消防局・東消防署合同庁舎

郵便番号	272-0021
所在地	八幡1丁目8番1号
電話番号	047-333-2111
FAX番号	047-333-8181
建築年月日	昭和60年6月30日
建物構造	鉄骨鉄筋コンクリート造(B1F、5F)
延床面積	4,229.48m <sup>2</sup>
敷地面積	2,872.96m <sup>2</sup>



### 東消防署中山出張所

郵便番号	272-0815
所在地	北方3丁目10番11号
電話番号	047-332-0119
FAX番号	047-332-0119
建築年月日	昭和56年1月29日
建物構造	鉄骨造(2F)
延床面積	267.00m <sup>2</sup>
敷地面積	293.43m <sup>2</sup>



### 東消防署高谷出張所

郵便番号	272-0013
所在地	高谷2023番地の10
電話番号	047-327-0119
FAX番号	047-327-0119
建築年月日	平成30年10月22日
建物構造	鉄筋コンクリート造(3F)
延床面積	850.31m <sup>2</sup>
敷地面積	1,236.58m <sup>2</sup>



## 西消防署・男女共同参画センター

郵便番号	272-0034
所在地	市川1丁目24番2号
電話番号	047-323-0119
FAX番号	047-323-0119
建築年月日	平成3年8月27日
建物構造	鉄骨鉄筋コンクリート造(B1F、7F)
延床面積	1,782.33m <sup>2</sup> (消防部分のみ)
敷地面積	784.49m <sup>2</sup>



## 西消防署国府台出張所

郵便番号	272-0827
所在地	国府台1丁目6番8号
電話番号	047-372-0119
FAX番号	047-372-0119
建築年月日	昭和49年3月20日
建物構造	鉄筋コンクリート造(2F)
延床面積	409.17m <sup>2</sup>
敷地面積	515.08m <sup>2</sup>



## 西消防署大洲出張所

郵便番号	272-0032
所在地	大洲1丁目18番1号
電話番号	047-376-0119
FAX番号	047-376-0119
建築年月日	平成16年9月15日
建物構造	鉄骨造(3F)
延床面積	983.88m <sup>2</sup> (消防部分のみ)
敷地面積	2,352.09m <sup>2</sup>

急病診療・ふれあいセンターと併設



## 南消防署

郵便番号	272-0133
所在地	行徳駅前4丁目6番19号
電話番号	047-397-0119
FAX番号	047-397-0119
建築年月日	昭和53年4月1日
建物構造	鉄骨造(3F)
延床面積	1,332.75m <sup>2</sup>
敷地面積	970.92m <sup>2</sup>



## 南消防署行徳出張所

郵便番号	272-0103
所在地	本行徳12番10号
電話番号	047-356-0119
FAX番号	047-356-0119
建築年月日	昭和53年12月15日
建物構造	鉄筋造(2F)
延床面積	390.32m <sup>2</sup>
敷地面積	686.22m <sup>2</sup>



## 南消防署広尾出張所

郵便番号	272-0146
所在地	広尾2丁目2番12号
電話番号	047-306-0119
FAX番号	047-306-0119
建築年月日	平成22年3月25日
建物構造	鉄骨造(3F)
延床面積	849.98m <sup>2</sup>
敷地面積	680.05m <sup>2</sup>



## 北消防署

郵便番号	272-0805
所在地	大野町4丁目2163番地の1
電話番号	047-338-0119
FAX番号	047-338-0119
建築年月日	平成23年11月21日
建物構造	鉄筋コンクリート造(3F)
延床面積	1,819.26m <sup>2</sup>
敷地面積	2,513.81m <sup>2</sup>



## 北消防署曾谷出張所

郵便番号	272-0832
所在地	曾谷2丁目7番2号
電話番号	047-374-0119
FAX番号	047-374-0119
建築年月日	昭和47年11月28日
建物構造	鉄筋コンクリート造(2F)
延床面積	396.56m <sup>2</sup>
敷地面積	364.29m <sup>2</sup>



## 消防訓練場

所在地	大野町4丁目2163番地の1
敷地面積	5,807.11m <sup>2</sup>



## 6 主要事業・行事（2020）

月　　日	主　　要　　事　　業　　・　　行　　事
1月11日	令和2年市川市消防出初式を挙行
1月20日	令和元年度第2回東葛飾湾岸地域メディカルコントロール協議会出席（浦安市）
1月20日～1月31日	千葉県消防学校高度救助科第1期入校
1月21日～1月22日	令和元年度市川市消防機関員認定審査（実技審査）を実施（大野消防訓練場）
1月27日	令和元年度第4回急病診療所運営委員会に出席
1月29日	第2回松戸市ほか5市消防指令事務協議会幹事会に出席（松戸市）
1月30日	令和元年度自殺対策会議に出席 市川市災害医療対策会議に出席
2月5日	令和元年度第2回市川市消防委員会を開催
2月6日	千葉県消防長会春季役員会に出席（千葉市）
2月12日	第2回松戸市ほか5市消防指令事務協議会に出席（松戸市）
2月12日	国府台病院地域医療支援病院運営委員会に出席
2月19日	消防広報紙「こちら119」No.286を発行
2月20日～2月21日	甲種防火管理新規講習を開催
2月21日	令和元年度東葛飾地区消防長会総務事務担当者会議に出席（船橋市）
3月1日～3月7日	令和2年春季火災予防運動を実施
3月11日	第2回指導救命士会議を開催
3月14日	救急業務に係る事故防止対策会議を開催
3月26日	令和元年度市川市消防局車両伝達式を実施（東ポンプ1、南水槽1）
4月1日	人事異動に伴う辞令交付式を実施
4月2日	消防団幹部会議及び辞令交付式を実施
4月1日～4月7日	新規採用職員研修（局）を実施（4月8日～5月8日 所属研修）
4月3日	救助等隊長会議を開催
4月3日～10月2日	救急救命東京研修所第58期入所
4月17日	千葉県消防長会春季総会（書面開催）
4月27日	令和2年度第1回急病診療所運営委員会に出席
5月7日	第1回松戸市ほか9市消防指令事務協議会総括部会（書面開催）
5月11日	第71回全国消防長会関東支部総会（書面開催）
5月21日	第29回全国消防長会総務委員会（書面開催）
5月21日	千葉県消防長会通信担当課長会総会（書面開催）
6月2日	第72回全国消防長会総会（書面開催）
6月19日	令和2年度東葛飾湾岸地域メディカルコントロール協議会（書面開催） (プロトコール委員会・事後検証委員会・教育委員会)
6月22日～6月26日	水難訓練（水難隊・高度救助隊合同訓練）を実施（千葉県消防学校）
6月27日	NPO法人「災害救助犬ネットワーク」との合同訓練を実施（東署）
6月30日～12月25日	市川市消防局・東消防署合同庁舎4階指令課改修工事を実施
7月2日～7月22日	令和2年度交通安全研修（Web開催）
7月2日～12月14日	千葉県消防学校初任科第170期入校
7月7日	第1回松戸市ほか5市消防指令事務協議会幹事会（書面開催）
7月7日	令和2年度第1回東葛飾湾岸地域メディカルコントロール協議会（書面開催）
7月7日～1月27日	市川市消防団第4分団車庫兼詰所建替工事を実施
7月8日	国府台病院地域医療支援病院運営委員会（書面開催）

月　　日	主　　要　　事　　業　　・　　行　　事
7月 9日～7月10日	第35回危険物保安技術講習会に出席（東京都）
7月17日	東葛飾地区消防長会通信事務担当者会議に出席（鎌ヶ谷市）
7月24日	令和2年度第1回市川市消防委員会（書面開催）
7月27日	令和2年度第2回急病診療所運営委員会に出席
7月28日	令和2年度特別救助隊救助訓練に伴う局長査閲及び効果確認を実施
7月29日	松戸市ほか5市消防指令事務協議会幹事会（臨時会）に出席（松戸市）
7月30日	千葉県高压ガス地域防災連絡会に出席（千葉市）
7月31日	第2回松戸市ほか9市消防指令事務協議会総括部会に出席（松戸市）
7月31日	令和2年度東葛飾地区消防長会警防事務担当者会議（書面開催）
8月11日	第1回松戸市ほか9市消防指令事務協議会幹事会に出席（松戸市）
8月12日	第1回松戸市ほか5市消防指令事務協議会（書面開催）
8月17日～10月2日	消防大学校幹部科第62期入校
8月18日	第1回松戸市ほか9市消防指令事務協議会に出席（松戸市）
8月19日	消防広報紙「こちら119」No.287を発行
8月27日	消防職員委員会を開催
9月 7日～9月11日	千葉県消防学校水難救助科第9期入校
9月11日	消防局消防士研修を実施
9月16日	千葉県消防長会総務委員会（書面開催）
9月16日	第3回松戸市ほか9市消防指令事務協議会総括部会（書面開催）
9月30日	消防大学校救助科第81期 部隊派遣（救助隊1隊・消防大学校）
9月30日～10月30日	千葉県消防学校救助科第49期入校
9月14日～9月18日	千葉県消防学校第2回一般救命士再教育入校
10月 1日～10月 2日	水難訓練を実施（千葉県国際総合水泳場）
10月 6日	令和2年度市川市消防局車両伝達式を実施 (国府台救急1・大洲救急1・南救急1)
10月 6日	令和2年度国際消防救助隊千葉県連携訓練を実施（柏市）
10月 9日	千葉県消防長会秋季役員会へ出席（野田市）
10月 9日	救助隊長会議を開催
10月12日～10月13日	水難訓練を実施（千葉県国際総合水泳場）
10月14日～12月 3日	消防大学校警防科第107期入校
10月16日	令和2年度東葛飾地区消防長会救助事務担当者会議（書面開催）
10月19日～10月20日	令和2年度事故防止等に関する勉強会を実施（国府台自動車学校）
10月20日～10月21日	消防局初級幹部研修を実施
10月21日	消防広報紙「こちら119」No.288を発行
10月23日	令和2年度東葛飾地区消防本部（局）消防署長会議（書面開催）
10月23日	NPO法人「災害救助犬ネットワーク」との合同訓練を実施 (大野消防訓練場)
10月26日	令和2年度第3回急病診療所運営委員会に出席
10月29日	第56回消防殉職者慰靈祭に出席（千葉県消防学校）
11月 2日	令和2年度市川市消防機関員認定審査（学科試験）を実施
11月 3日～2月26日	市川市東消防署高谷出張所消防艇渡り桟橋改修修繕を実施
11月 4日	千葉県消防長会秋季総会（書面開催）
11月 6日	令和2年度全国消防長会役員会（書面開催）
11月 6日	令和2年度全国消防長会関東支部消防長会研修会に出席（横浜市）
11月 9日～11月15日	令和2年秋季火災予防運動を実施
11月12日	火災予防絵画展を開催（ニッケコルトンプラザ）
11月13日	第56回市町村消防長消防団長会議に出席（市原市）
11月13日	NPO法人「日本救助犬協会」との合同訓練を実施（浦安市）
	令和2年自殺対策庁内連絡会に出席

月　　日	主　　要　　事　　業　　・　　行　　事
11月17日～11月18日	消防局中級幹部研修を実施
11月24日	第60回市川市消防職員意見発表会を開催
11月26日	NPO法人「災害救助犬ネットワーク」との合同訓練を実施 (千葉県消防学校)
11月27日	令和2年度国際消防救助隊千葉県連携訓練を実施(千葉県消防学校)
12月1日～12月4日	特別(高度)救助隊技術確認を実施(大野消防訓練場)
12月3日	第23回全国消防救助シンポジウム(Web開催)
12月4日	松戸市ほか9市消防指令事務協議会(書面開催)
12月10日	新指令センターへ切り替えを行い仮運用開始
12月15日	令和2年度歳末特別警戒出動式を実施
12月15日～12月31日	令和2年歳末特別火災予防運動を実施
12月16日	消防広報紙「こちら119」No.289を発行
12月16日	水難救助隊技術確認を実施(千葉県国際総合水泳場)
12月25日～3月24日	市川市西消防署冷温水発生機改修工事を実施
1月6日～2月26日	消防大学校予防科第109期入校
1月12日～3月11日	千葉県消防学校救急科第47期入校
1月14日	令和2年度東葛飾地区消防本部(局)総務事務担当者会議(書面開催)
1月14日	第4回松戸市ほか9市消防指令事務協議会総括部会(書面開催)
1月18日～1月29日	千葉県消防学校高度救助科第2期入校
1月20日	消防広報紙「こちら119」出初式臨時号を発行
1月21日～1月22日	令和2年度市川市消防機関員認定審査(実技審査)を実施 (大野消防訓練場)
2月1日	ちば北西部消防指令センター運用開始(10市共同指令センター)
2月8日	令和2年度第2回市川市消防委員会(書面開催)
2月17日	消防広報紙「こちら119」No.290を発行
2月17日～2月19日	令和2年度国際消防救助隊セミナー(Web開催)
3月1日～3月7日	令和3年春季火災予防運動を実施
3月22日	令和2年度市川市消防局車両伝達式を実施(西救助1)